

【重要】

新型コロナウイルス感染症の影響で困窮する学生等を支援するための「学生等の学びを継続するための緊急給付金」について、スマートフォンを活用した申請システムを案内させていただきます。

当該給付金について、在籍する学生等へ周知していただくとともに、支給を希望する学生等の審査、とりまとめについて御協力をお願いします。

事 務 連 絡

令和3年12月21日

各 国 公 立 大 学 法 人 担 当 課
大学又は高等専門学校を設置する各地方公共団体担当課
各 文 部 科 学 大 臣 所 轄 学 校 法 人 担 当 課
大学を設置する各学校設置会社担当課
大学又は高等専門学校を設置する公立大学法人を設立する各地方公共団体担当課
独立行政法人国立高等専門学校機構担当課 御中
各 都 道 府 県 教 育 委 員 会 専 修 学 校 主 管 課
各 都 道 府 県 専 修 学 校 主 管 課
厚 生 労 働 省 医 政 局 医 療 経 営 支 援 課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

文部科学省高等教育局学生・留学生課
総合教育政策局生涯学習推進課

「学生等の学びを継続するための緊急給付金」スマートフォンを活用した申請システム
について（周知）

平素は文部科学行政に格別の御高配を賜り、誠にありがとうございます。

令和3年12月20日付事務連絡「学生等の学びを継続するための緊急給付金について（依頼）」で予告しておりましたスマートフォンを活用した申請システムにつきましてお知らせ致します。

1. スマートフォンを活用したオンライン申請システムについて

昨年度に引き続き、今回の事業の実施にあたっても、学生等の利便性、事務の効率化・簡素化の観点から、スマートフォンを活用した申請システムを用意させていただきました。本システムは、学生等がLINEを利用してスマートフォンで容易に申請を行うことができるのみならず、学生等の申請データをもとに、日本学生支援機構に提出するために大学等が作成する推薦リストを様式に沿って容易に作成できるなど、利便性の高いものとなっています。

なお、今回は、昨年度ご利用された大学等からのご要望を踏まえまして、以下の機能改善を実施しておりますので、ご承知おきください。

- ・ 推薦手続き用の申請データ（画像データを除く推薦審査に必要な情報のテキストデータ）の一括ダウンロード機能の追加（1月中旬稼働予定※）

※）1月11日（火）時点で当該機能の稼働が間に合わない場合、1月11日（火）以降に、事務局にご依頼いただければ全件ダウンロードしてCSVデータ（画像ファイルを除く）をご納品いたします。ご希望の学校は下記の「学生等緊急給付金 大学等オンライン申請専用窓口」のメールアドレス（cccontact_is@disc.co.jp）までご依頼をお願いいたします。

- ・ 証拠書類保存のための画像データ一括ダウンロード機能の追加（2月下旬稼働予定）

2. オンライン申請システムのご利用方法について

本申請システムの利用を希望される各大学等におかれましては、下記（1）に記すURL又はQRコードから必要事項を御登録ください。大学等ごとにQRコード等が発行されます。大学等ごとのQRコード等や下記（2）に記す学生向けマニュアルを含め、所属する学生等に対しても本システムを利用しての申請を周知するようお願いいたします。但し、従来日本学生支援機構の奨学金を活用していない専門学校・日本語教育機関については、本システムを利用できませんので御注意ください。

また、本システムの利用は任意であり、システムの利用を希望される大学等のみ手続きを進めていただくようお願いいたします。

さらに、本システムを利用するにあたっては、別添の約款に同意していただく必要がありますので、御承知おきください。

（1）各大学等の登録申請フォーム

- ・ スマートフォンからの登録申請フォーム

https://liff.line.me/1656716883-XAR7bg8d/landing?follow=%40324algc&lp=m8r9ZV&liff_id=1656716883-XAR7bg8d

- ・ QRコード



- ・ パソコンからの登録申請フォーム

<https://rua.jp/form/27611/8Thkq0/73644c>

(2) 学生向けマニュアル

- ・「学生等の学びを継続するための緊急給付金」申請の手引き（学生・生徒用）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/mext_00003.html

(3) その他参考情報

本申請システムは、株式会社ディスコの「キャリアタス Contact」によって提供されるシステムとなります。同システムの利用のご検討にあたり、「キャリアタス Contact」のセキュリティに関する説明資料を添付しますので、必要に応じて御活用ください。

(本件問合せ先)

<大学、短期大学、高等専門学校>

e-mail: kyuhugata-shien@mext.go.jp

※ お問合せは、メールにてお願いします。

※ メールの件名に【学校名】記載ください。

<専門学校>

電話：03-5253-4111（代表）

※ お問合せの際は、交換手に「専門学校生への緊急給付金についての問合せ」と御説明ください。

<利用登録や操作方法についてのお問合せ>

学生等緊急給付金 大学等オンライン申請専用窓口

e-mail: ccontact_is@disc.co.jp

別添

キャラタスContact利用約款

文部科学省が実施する「学生等の学びを継続するための緊急給付金」において、独立行政法人日本学生支援機構への学生等の推薦にあたり「キャラタスContact」を利用される大学、短期大学、高等専門学校、専門学校(以下「利用者」といいます。)は、「キャラタスContact」を企画・管理する株式会社ディスコ(以下「運営管理者」といいます。)に対し、以下の約款に同意していただく必要があります。

第1条(約款の適用)

「キャラタスContact」利用約款(以下「本約款」といいます。)は、運営管理者が企画・運営する「キャラタスContact」の利用に関して、「キャラタスContact」にかかるサービスの契約内容として同意の上、運営管理者と契約(以下「本契約」といいます。)を締結した利用者に対して適用されるものとします。

2.運営管理者は、本約款に基づき利用者に「キャラタスContact」にかかるサービスを提供するものとし、利用者は、本約款に定める業務を誠実に履行するものとします。

3.「キャラタスContact」は、LINE株式会社が提供するLINE公式アカウントを使用したサービスです。LINE公式アカウントのサービス利用については、LINE公式アカウントの規約に準ずるものとします。

第2条(キャラタスContactの利用申込および契約の成立)

利用者は、「キャラタスContact」の利用にかかる申し込みを行う場合には、「キャラタスContact」により提供されるサービスの内容を理解・承諾の上、運営管理者が定める方法により申し込むものとします。なお、「キャラタスContact」の利用を申し込んだ時点で利用者が本約款に同意したものとみなします。

2.「キャラタスContact」の利用期間は、文部科学省が実施する「学生等の学びを継続するための緊急給付金」の実施期間に準じます。

第3条(「キャラタスContact」の利用)

利用者は、「キャラタスContact」を利用するにあたり、本約款に規定する事項および「キャラタスContactマニュアル」を遵守するものとします。なお、運営管理者は、「キャラタスContactマニュアル」につき、自己の判断により適宜変更することができるものとします。

第4条(「キャラタスContact」利用ID・パスワード)

運営管理者は、本契約が成立した場合には、利用者に対し、「キャラタスContact」の利用にかかるID・パスワード(以下「ID等」といいます。)を発行するものとします。

2. 利用者は、個人情報保護およびセキュリティ保持の必要上、ID等について厳重な管理義務を負うものであり、第三者にID等を譲渡または、貸与もしくは開示等してはならないものとします。但し、利用者が事務処理の必要性からID等を業務委託先に使用させる場合には、利用者の一切の責任においてこれを行うものとし、それにかかる事故等に関し、運営管理者は何らの責任も負わないものとします。

第5条(取得情報の取り扱いについて)

利用者による取得情報の使用および管理に関し、第三者から運営管理者に対して訴訟提起その他のクレームがなされた場合、かかるクレームや訴訟に対して、利用者は一切の責任と費用でこれを解決するものとし、運営管理者が一切責任を負わないことに同意するものとします。

2. 利用者は、「キャラタスContact」の操作を第三者に委託する場合も本条項と同等の義務を当該第三者に負わせるものとします。但し、それにより利用者の責を免れるものではありません。

第6条(保守作業等による「キャラタスContact」の運営の一時的な停止)

運営管理者は、次の各号に該当する場合には利用者への事前の通知や承諾なしに、「キャラタスContact」の一時的な運営の停止を行うことがあり、利用者は、これを予め承諾します。

(1)「キャラタスContact」にかかるサーバーの保守または「キャラタスContact」の仕様の変更もしくはシステムの瑕疵の補修等を行う場合

(2)天災地変その他非常事態が発生し、もしくは発生するおそれがあり、または法令等の改正・成立により「キャラタスContact」の運営が困難または不可能になった場合

(3)上記各号の他、運営管理者がやむをえない事由により「キャラタスContact」の運営上一時的な停止が必要と判断した場合

2. 前項に定める「キャラタスContact」の一時的な運営の停止により、利用者が登録した利用者情報等の「キャラタスContact」上への反映の遅れまたは利用者を登録許可した登録者(以下「登録者」といいます。)からの情報の受信の遅れが生じた場合でも、運営管理者は、何らの責任も負わないものとします。

第7条(利用料)

利用料は無料とします。

第8条(約款の変更)

運営管理者は、以下の場合に、運営管理者の裁量により、本約款を変更することができるものとします。

(1)本約款の変更が、利用者の一般の利益に適合するとき

(2)本約款の変更が、本契約の目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき

運営管理者は、本約款について重要な変更を行う場合には、変更内容・条件等(以下「変更条件」といいます。)の適用開始日の1ヶ月以上前から適用開始日まで、変更条件を「キャラタスContact」に掲載またはメールにて通知するものとします。

2. 利用者は、変更条件を承諾しない場合には、当該変更条件の掲載日より1ヶ月以内に、メールまたは書面にて運営管理者に対して通知しなければなりません。

3. 運営管理者が前項の通知を受領した場合は、当該変更条件適用開始日の前日をもって本契約は終了するものとします。

4. 前項の規定により、本契約が終了する場合を除き、本約款は、適用開始日に、当該変更条件どおりに当然に変更されるものとします。変更後の本約款の適用開始日以降に利用者が「キャラタスContact」のサービスを利用したときは、利用者は、本約款の変更に同意したものとみなします。

第10条(機密保持義務および個人情報の取り扱い)

利用者は、「学生等の学びを継続するための緊急給付金」のオンライン申請利用の同意をもって、学生等から取得した個人情報に関し、「学生等の学びを継続するための緊急給付金」に係る事務を実施した日の属する年度の終了後5年間保存することについて同意したものとみなされます。

2. 運営管理者は、利用者の「キャラタスContact」の利用により、利用者が「キャラタスContact」に登録した利用者情報等および個人情報(JISQ15001の定義に従うものとし、以下「個人情報」といいます。)を機密として厳重かつ適正に取り扱うものとし、当該利用者の同意を得た場合を除き、本約款に定めるサービス提供の目的以外での利用を行わず、かつ第三者に開示または漏洩しないものとします。

3. 運営管理者は、利用者から別途個人情報の取り扱いを委託された場合、当該個人情報を機密として保持し、利用者の事前の書面による承諾なく、個人情報の複写、破壊、改竄、第三者への開示および漏洩、情報開示目的以外での利用を行いません。

4. 申し込みされた大学等の担当者の個人情報(団体名、所属部署名、担当者氏名、電話番号、住所、E-mail アドレス等)は、運営管理者の〈個人情報保護責任者〉篠崎和之(個人情報相談窓口TEL:0120-77-5078(受付時間:月～金10:00～12:00/13:00～17:00)、E-mail:privacy-madoguchi@disc.co.jp)が厳重に保管、管理します。また、下記の利用目的のみで使用し、予め本人の同意なく他の目的で利用することはありません。

(1)システム運用のサポート業務

5. 個人情報のご記入は任意です。但し、個人情報を記入いただけない場合、「キャラタスContact」のサービスが受けられないことがあります。

6. 運営管理者は、個人情報をできるだけ正確かつ最新の内容で管理いたします。利用目的の通知、個人情報の開示、訂正、追加または削除、および個人情報の利用または提供の拒否

等を求める場合には、以下にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

学生等緊急給付金 大学等オンライン申請専用窓口

E-mail: ccontact_is@disc.co.jp

TEL:03-6361-1307

7. 運営管理者は、個人情報保護責任者を選定し、業務遂行上個人情報を取り扱うことが必要な者(運営管理者との雇用関係の有無を問いません。)にのみ個人情報を取り扱わせるものとします。

8. 運営管理者は、業務上必要な範囲内でのみ第三者に個人情報を取り扱う業務の全部または一部を委託することができるものとします(以下、かかる第三者を「委託先」といいます。)。但し、その場合、運営管理者は、本条における運営管理者の義務と同等の義務を委託先に負わせるものとします。

9. 運営管理者は、利用者から個人情報の管理体制についての報告を求められた場合、第三者の個人情報の秘匿性を害することがない方法および内容で、利用者に対して当該報告を行うものとします。

10. 以下の場合、運営管理者は、個人情報を開示することができるものとします。但し、この場合においても、運営管理者は、可能な限り個人情報の機密性の保持に努めます。

(1)法令に基づく場合

(2)人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき

(3)公衆衛生の向上または児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき

(4)国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

第11条(運営管理者の免責)

利用者は、自己の責任により「キャラタスContact」を利用するものとし、運営管理者は、本契約もしくは、その履行および「キャラタスContact」の利用に関して利用者につき生じた損害について、運営管理者の故意または重大な過失による損害であることが明白な場合を除き、何らの賠償義務を負わないものとします。なお、運営管理者が責任を負う場合であっても、かかる責任は、直接かつ通常の損害の範囲に限られます。

2. 運営管理者は、天災地変その他不可抗力(運営管理者の責めに帰すべき事由によらない回線の輻輳、回線の障害、サーバーダウン等を含みます。)により生じた損失につき何らの責

任も負わないものとします。

3. 運営管理者は、業務上通常要求される程度の合理的な措置を運営管理者が講じていたにもかかわらず、利用者または第三者の責めに帰すべき事由により生じた損失(①ウイルスによるサーバーダウン、システム障害、データの流出・損壊および誤った情報の掲載、②ハッキングによるサーバーダウン、システム障害、データの流出・損壊および誤った情報の掲載、③プロバイダのダウン、④利用者の操作ミスによるデータの流出・損壊、採用機会の損失および誤った情報の掲載並びに⑤システム環境の変化による障害等の運営管理者の責によらない「キャリアスContact」にかかるシステムの瑕疵等を含みます。)につき、何らの責任も負わないものとします。

第12条(権利義務譲渡の禁止)

利用者は、本契約上の地位に基づく一切の権利義務を、運営管理者の事前の書面による承諾なく、第三者に譲渡もしくは貸与し、または担保に供してならないものとします。

第13条(禁止事項)

セキュリティ保持の必要性に鑑み、利用者の自動巡回プログラム等により「キャリアスContact」に関するシステムの全部または一部に過負荷をもたらすおそれのある行為は一切禁止します。万一利用者が当該行為を行った場合、運営管理者はこれに対し事前予告なくして遮断措置等技術上の措置を講じることができるものとし、これにより利用者に損失が生じた場合でも運営管理者は何らの責任も負わないものとします。

第14条(反社会的勢力との関係)

利用者および運営管理者は、自己が反社会的勢力に該当せず、かつ、反社会的勢力と何ら関係を有していないことを表明し、保証するものとします。

第15条(契約期間・解除)

本契約の有効期間は、利用期間終了日までとします。

2. 前項にかかわらず、運営管理者は、利用者が次の各号に該当するときには、利用者に対し通知を行うことにより、即時に本契約を解除または「キャリアスContact」の一定期間の利用を停止することができます。

(1)本約款の規定に違反したとき

(2)運営管理者の信用を傷つけたとき

(3)差押え、仮差押え、仮処分、租税滞納処分を受け、または破産、民事再生、特別清算、会社更生を自ら申し立て、もしくは申し立てを受けたとき

(4)手形・小切手の不渡処分を受け、またはその他支払い不能となったとき

(5)事業の全部または重要な部分を他に譲渡したとき

- (6)合併等により経営環境に大きな変化が生じたとき
- (7)信用に不安が生じたとき
- (8)事業を廃止したとき、または清算にはいったとき
- (9)利用者が法令違反その他社会的合意に反する行為等を行ったことにより運営管理者が「キャリアタスContact」に会社情報等を掲載することが望ましくないと判断したとき
- (10)その他本約款に定める事項を遂行できる見込みのなくなったとき

3. 運営管理者は、前項各号に定める事項の他、第三者からの苦情または利用者に起因するトラブル等から、利用者による「キャリアタスContact」の利用が、運営管理者または「キャリアタスContact」の信用等に影響を及ぼす可能性があると判断した場合には、利用者に対し通知することにより、本契約を即時に解除することができるものとします。

4. 利用者は、前2項の規定により本契約を解除された場合には、期限の利益を喪失し、直ちに運営管理者に対する一切の債務を弁済するものとします。

5. 運営管理者は、利用者が次の各号に該当し、かつ運営管理者が緊急を要すると判断した場合には、利用者に対し事前の通知なしに一定期間の利用を停止することができるものとします。

(1)登録者または他の利用者を含む第三者および運営管理者の生命、身体、財産、名誉、信用等に影響を及ぼす可能性があるとき

(2)利用者が法令違反その他社会的合意に反する行為等を行ったことにより運営管理者が「キャリアタスContact」の利用が望ましくないと判断したとき

第16条(合意管轄)

本契約は日本法を準拠法とし、本契約に関して生じる一切の紛争については、東京地方裁判所または東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。但し、当該管轄裁判所が法令に反すると判断される場合には、法令の定めによるものとします。

第17条(存続条項)

本契約終了後も、第5条、第10条、第11条、第16条、第18条および本条は有効に存続するものとします。

第18条(協議解決)

本約款および運用ルール等の解釈に疑義が生じた場合、または本約款および運用ルール等に限定されていない事項については、運営管理者と利用者は、協議の上円満に解決するものとします。

附則:2021年12月20日作成

キャリアスContact

インターネットセキュリティと
データ管理体制のご説明

セキュリティ要件

- WEBアプリケーションの利用において、各利用者の情報を不正なアクセスから防ぐため 以下の
ような対策を取っております。

表 保護要件と具体的な対策

#	保護要件	
1	なりすまし防止	・IDとパスワード認証による不正ページアクセス防止 ・cookieとサーバサイドセッションによる 不正ページアクセス防止
2	盗聴防止	・TLS通信による暗号化
3	改ざん防止	・Webアプリケーションに対する書込み権限の限定、及 びFirewallによる制御、 公開鍵認証を利用したコンテンツ更新
4	暗号化通信	・TLS通信による暗号化
5	通信プロトコル制御	・Firewallにより制御
6	通信量制御	・ロードバランサにより制御
7	ハッキング対策	・Web Application Firewall (WAF) やFirewallにより防衛
8	ウィルス対策	・コンテナによる差分検証・環境の定期初期化により対処

※リアルタイムで通信を不正アクセス防御システムで監視し、緊急性のレベルにより、即時・日次・月次で対応を 検討しま
す。また、FireWallログについては3年間保管しております。

※コンピュータ緊急対応センター(JPCERT/CC)、情報処理振興事業協会セキュリティセンター(IPA/ISEC) の情報より対応を
行っております。

※FirewallはAWS環境ではSecurity Groupを指す。以下同じ

(1) なりすまし防止(ユーザ及びサーバ認証)

【なりすまし】

他人のユーザIDやパスワードを盗用し、その人のふりをしてネットワーク上で活動すること。

本来その人しか見ることができない機密情報を盗み出したり、悪事を働いてその人のせいにしたりすること。

また、個人に限らずWebサイト自体もその対象となり得ます。

1、本システムにおける認証パターン

本システムは下記#1の認証を基本としております。

ただし、一般に公開するコンテンツに関しては#0の認証となります。オプションとして2, 3の認証を付加することが可能です。

#	パターン	
0	サーバ認証	・TLS通信によるサーバー認証
1	サーバ認証+IDパスワード認証	・TLS通信によるサーバー認証に加え、 個別に発行されたID,パスワードによる認証と 認証情報をもとにしたセッション管理を実施
2	+IDパスワード認証	・クライアント証明書認証を利用し、 証明書が登録されているPCからのみの認証する。
3	+IP制限	・事前登録されているIPアドレスでのみ認証する。

2、DBにおけるデータアクセスについて

- DB内のデータについては、各利用者のログインIDにて対象データを判断し、かつ、ユーザーID・パスワード等、前途の認証にて与えられた権限を絞ることにより、表示可能該当データのみを表示します。そのため、認証情報が漏洩されない限り、データが他の人に見えることはありません。また、ID、パスワードが漏洩した可能性がある場合、ユーザIDやパスワードの変更により不正アクセスをブロックすることができます。

3、XSS対策

【XSS(クロスサイトスクリプティング)】

悪意を持った第三者よりサイト内のプログラムに渡されたHTMLタグやスクリプトを、閲覧者のブラウザに送り、そのコンピュータで実行させてしまう脆弱性のこと。この脆弱性を利用すると、Webセッションの監視から、第三者への情報の転送、個人情報の含まれたクッキーを読み取ったり上書きしたりすることができ、またそのサイトを訪れるたびに実行される永続的なコードであることもあります。

- アプリケーションにて、入力データや引渡しデータ内にHTMLタグやスクリプトコード、SQL文などが無いかをチェックします。
- アプリケーション上での入力データの引き渡しは必ずフレームワークによるサニタイズ処理を挟み、入力変数を直接出力する関数の利用を禁じ、また検知する仕組みを導入しています。
- 作成されたアプリケーションに問題ないかチェックするため、第三者機関のアプリケーション脆弱性検査を受けており、発見された問題点については対応を行っております。

4、OS、Webサーバソフトの対処

- 利用しているOS、ミドルウェア、Webサーバソフトに対して、全てのセキュリティホール情報の収集と対処を行ないます。
(コンピュータ緊急対応センター(JPCERT/CC)、
情報処理振興事業協会セキュリティセンター(IPA/ISEC)を基本とします。)
- 設定に問題ないかチェックするため、第三者機関の脆弱性検査(擬似攻撃)を受けており、発見された問題点については対応を行っております。

(2) 盗聴防止のための暗号化

- 盗聴防止対策として、TLS設定による通信データの暗号化を実施致しております。

【 TLS (Transport Layer Scurity) 】

インターネット上で使われるwwwなどのデータを暗号化し、プライバシーに関わる情報や企業秘密などを安全に送受信する仕組み。

電子認証機関の発行するサーバ証明書を使用することによって次の点が証明できます。

- ・＜サイトの正当性＞
ドメインの所有者が持つサーバであることを確認できます。
- ・＜データの完全性＞
ユーザとサーバ間の送受信データが改ざんされていないことを証明します。

(3) 不正アクセス(通信プロトコル制御、通信量制御、ハッキング対策)

FirewallにてインターネットからDBへの不正アクセスを遮断します。

またウェブサーバーの不要なポートへのアクセスを遮断します。

WebApplicationFirewall(WAF)により、アクセスを監視し、不審なアクセスをブロック、アクセスパターンを保全しております。

またロードバランサ及び、SSLアクセラレータを使用し、Webサーバーの安定稼働をサポートします。

【 ロードバランサ(負荷分散装置) 】

多くのサーバに要求を分散して送信し、各サーバが快適な応答速度を保つことを目的に外部ネットワークからの要求を転送する装置。

【 SSLアクセラレータ 】

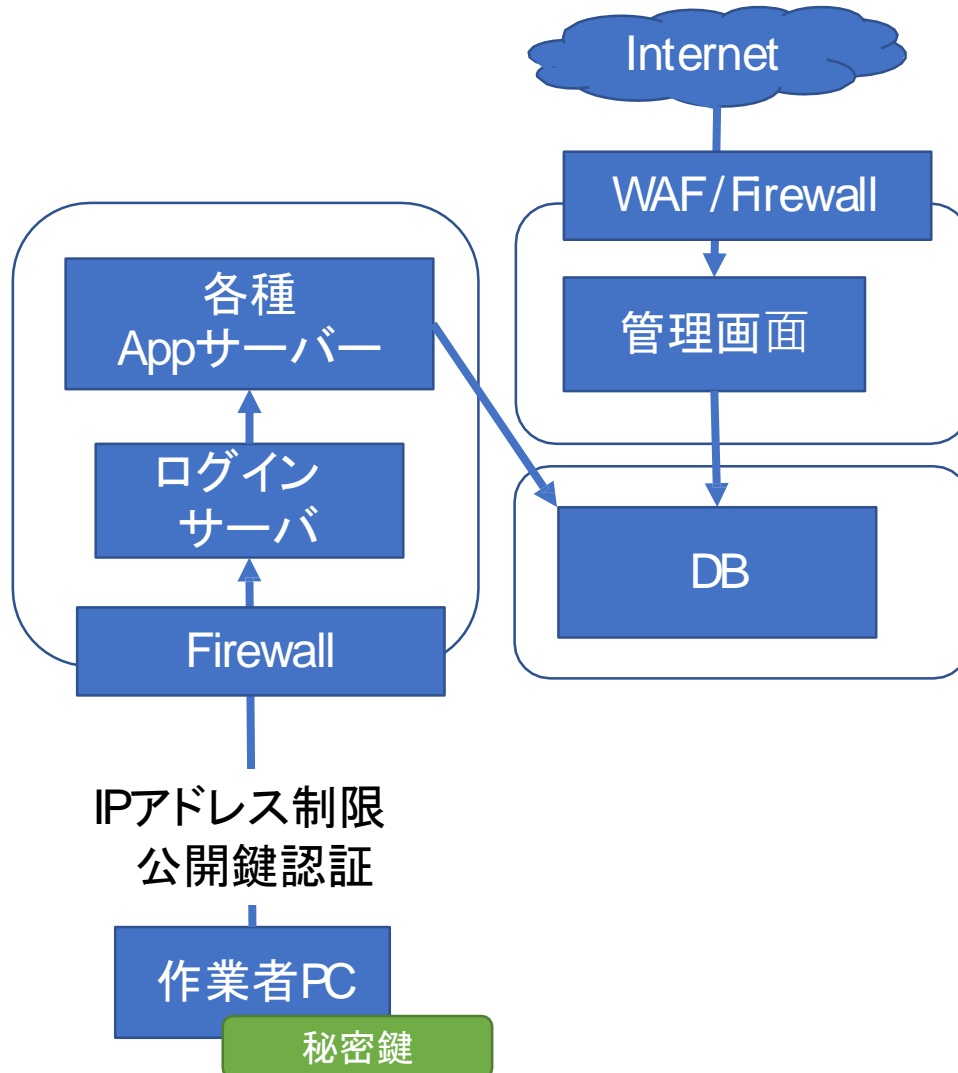
SSL/TLSによる暗号通信で送受信される膨大なデータの復号化処理を高速に行う専用装置。

(4) ウィルス対策

本システムが受信するファイル・メールは直接サーバーに保存されることなく、マネージドサービスに直接渡され、ウィルスや不正プログラムが処理されます。また、万一不正プログラムが侵入した場合も、サーバー環境はコンテナ技術を用いて定期的に初期化されますので被害の拡大を最小限に防ぐことができます。

セキュリティ対策の概要

・外部ネットワークからの攻撃の防止



サーバーへのリモートログインには
専用のログインサーバを経由して接続。こ
れ以外は拒否されます。

ログインサーバに接続できるIPアドレスは開発 者
のネットワークに限定しています。

ログインは公開鍵認証により行われます。

インターネットから各サーバーへのアクセス は、
フロントエンドのサーバを除いて拒否さ れます。

フロントエンドのサーバは
WAFやFirewallで防衛しております。

各サーバー間の通信は必要最小限のみ
開放しています。

サーバ環境

本サービスのすべてのサーバは
Amazon Web Service (AWS) のクラウド環境にてホスティングしております。

AWSのセキュリティ等の詳細は下記サイトをご確認ください。

<https://aws.amazon.com/jp/compliance/>

データ保全策として、システムの重要部分に関しましては
東京リージョンの複数のAvailability Zone(物理的に完全に独立したデータセンタ)にて冗
長化しており、またバックアップに関しては耐久性99.999999999%を
達成するように設計されたデータストレージS3を利用しております。

またAWS上でマネージとサービスとして提供されています

- ・RDS(データベース)
- ・Redis(インメモリKVS)
- ・DynamoDB(KVS)
- ・SQS(キューイング)
- ・S3(ストレージ)
- ・SES(メール送信)

などを活用し、独自に構築するよりも信頼性・安全性の高い環境を構築
しております。

運用

- ・お預かりしているデータを取り扱うことのできる端末とネットワークを限定して おります。PC本体と本システムの2段階の認証が必要になっております。
- ・個人情報が含まれた記録媒体や印刷物に関しましては、鍵のついたキャビネット に保管しております。受け渡しにつきましては記録の残るデータ上でのやり取りを 基本としております。
- ・データベースや顧客情報へのアクセスはすべてログを記録しておりますので、いつ、誰が、何をしたかを把握することが出来ます。
- ・お預かりしているデータの保管期間につきましては、サービス期間終了後の翌月 末までとしております。保管期間が経過したデータにつきましては、廃棄ルールに 則り廃棄してます。また、お客様の要望により保管期間を短くしたい場合は別途対応しております。

DISCO

はたらくを、もっと豊かに。



株式会社ディスコは、2001年5月11日付で、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）より個人情報の適切な扱いをしている事業者として「プライバシーマーク」を付与されております。